

# 大募集!! とっとり電子メディアとの付き合い方コンクール

スマートフォンやゲーム機は便利で楽しい面もありますが、使い方を間違えて友だちとトラブルになったり、恐ろしい事件に巻き込まれたりする事例も増えています。また、長時間の使用による生活習慣の乱れ等が深刻化している面もあります。

そこで、スマートフォン、ゲーム機等の電子メディア機器利用のルールや関わり方についての取組を募集します。生徒会やPTA、中学校区等での取組を、是非応募してください。

入賞実践は、12月2日(土)に開催予定の「とっとり電子メディアとの付き合い方フォーラム」で発表したり、HPに掲載したりします。

電子メディアと適切に付き合っていくために、取組をはじめませんか。

## 募集対象実践

スマートフォン、ゲーム機等の電子メディア機器の適切な利用についての実践で、現在あるいは今後取り組んでいくもの

- 例えば...
- 生徒会で電子メディアの適切な利用を呼びかけるチラシを作成し、校内に配布した。
  - 子どもたちとPTAが話し合っ、電子メディアの利用ルールを考えた。
  - 中学生・高校生が小学校に出掛けて、自分たちの経験をふまえながら、適切な電子メディアの利用について呼びかけた。

## 応募資格

小学校、中学校、高等学校、特別支援学校の児童会・生徒会・学年、PTA、中学校区のPTA、地域の団体等  
(鳥取県内の小学生、中学生、高校生、大学生、社会人を主体とする団体・グループ)

## 応募締切

平成29年 9月1日(金)

▼ 応募方法等、詳しくはHPをご覧ください ▼

<http://www.pref.tottori.lg.jp/265485.htm>

(主催) 鳥取県ケータイ・インターネット教育啓発推進協議会、鳥取県教育委員会  
(共催(予定)) 鳥取県PTA協議会、鳥取県高等学校PTA連合会、鳥取県私立中学高等学校PTA連合会、鳥取県特別支援学校PTA連合会

問合せ先 県教育委員会社会教育課 【電話】0857-26-7943 【FAX】0857-26-8175



教育 だより

# とっとり 夢ひろば!

平成29年5月 Vol. 87 編集・発行/鳥取県教育委員会 年5回発行

## 目次

教育長あいさつ「子どもたちは地域の宝、地域の未来」.....	1	心とからだいきいきキャンペーン.....	5
美術企画展で鑑賞授業を! 一作品の前で立ち止まれる子どもに.....	1	改定しました 鳥取県人権教育基本方針.....	5
【特集】H29年度 鳥取県教育委員会の主な取組.....	2~3	いじめ・不登校等の相談は そと相談 ほっと安心.....	5
これからの時代を生きる子どもたちのために.....	4	<子ども県政コーナー> 鳥取和牛を知ろう!.....	6・7
「鳥取県幼児教育センター」誕生.....	4	<トピックコーナー>.....	8
熱中症の予防と対応について・PM2.5について.....	4	●大募集!とっとり電子メディアとの付き合い方コンクール	
毎月17日は柔軟の日.....	5	●お知らせ・イベントコーナー	



鳥取県教育委員会 教育長 山本 仁志

## 子どもたちは地域の宝、地域の未来

新学期が始まり、児童・生徒の皆さんは気持ちも新たに学校生活のスタートを切られたことと思います。さて、昨年10月21日に鳥取県を襲った最大震度6弱の大地震は、中部地区を中心に県民の皆様にも大きな被害をもたらしましたが、地域の支えあいの絆の力や県内外からの多くの支援に支えられ、今着実に復興へと歩みを進めています。そんな中において、子どもたちもこの震災から多くのことを学んだようです。「温かい食べ物のありがたさ」「普通の日常の中にこそ幸せがあるということ」「困難やつらい状況の中で前向きに考えることの大切さ」などなど。子どもたちがこれから生きていく21世紀の社会は、少子高齢化、グローバル化の進行やAI(人工知能)の発展などに伴って大きな変動が起こり、今回の地震以上に誰も経験したことのない課題やこれまでの知識や経験の集積だけでは解決が困難な課題が次々と起こる社会であろうかと思えます。子どもたちがこうした社会

や時代を生き、地域の未来を担っていくために、学ぶ意欲を高め、基礎・基本を確実に定着させて、自ら学び、自ら考え判断し行動していく力を育成することが大切です。また、人と人との絆の中で協働し、新しい考えや価値を生み出していけるようにすることも必要です。鳥取県では、知事と教育委員会が協議して「教育に関する大綱」を策定し、少人数学級を生かした主体的な学びによる学力向上やグローバル化に対応した英語教育の充実、土曜授業等の取組、ICTを活用した教育の充実、ともに生きるための特別支援教育の充実などに取り組んでまいります。また一方、「子どもたちは地域の宝、地域の未来」「地域の子どもは地域で育てる」という認識のもと、学校・家庭・地域が互いに連携・協力し、地域の未来を担う子どもたちの成長を地域全体で見守り、支えていくことが大切であり、そのことがひいては地域の発展につながるのだと思います。コミュニティスクールや学校支援ボランティアなど、地域で子どもたちの成長を見守る取組を進めるとともに、地域や地元企業と連携した教育活動やふるさと教育の充実等を進めてまいります。夢に向かってチャレンジし、失敗を重ねながらも可能性を最大限に発揮して伸びてゆく子ども、家庭や郷土に育まれる子どもを、県民の皆さんと一緒に、見守り育てまいる所存でありますので、皆様のご理解とご協力をお願いします。

## お知らせ・イベントコーナー

事前申込が必要なものや集合場所が決まっているイベントもありますので、詳しくはお電話等でお問合せください。

イベント名	開催期間	時間	場所	問合せ先	その他
在学青年交歓の集い	6月10日(土)~11日(日)	(10日) 13:00~(11日) 15:00	県立大山青年の家	県立大山青年の家 電話:0859-53-8030 FAX:0859-53-8265	参加費用:2,200円 申込期限:5月26日(金)必着 対象:高校生 定員:30名
はじめての冒険①②	①6月17日(土)~18日(日) ②7月1日(土)~2日(日)	(1日) 9:30~(2日) 14:30	県立大山青年の家	県立大山青年の家 電話:0858-55-7111 FAX:0858-55-7119	参加費用:3,000円程度 申込期限:6月2日(金)必着 対象:小学校1・2年生 定員:各36名
ちっちゃい探検隊①	7月1日(土)~2日(日)	(1日) 10:00~(2日) 14:00	県立船上山少年自然の家とその周辺	県立船上山少年自然の家 電話:0858-55-7111 FAX:0858-55-7119	参加費用:3,500円程度 申込期限:6月1日(木)~15日(木)必着 対象:小学1~3年生 定員:48名
《自然講座》顕微鏡で楽しむミクロの世界	7月22日(土)	①10:00~12:00 ②14:00~16:00	県立博物館 会議室	県立博物館 電話:0857-26-8044 FAX:0857-26-8041	受講料:無料 申込:7月6日(木)~、電話のみ 対象:小学生~一般(小学生は保護者同伴) 定員:各15名(先着順)
大山わくわく探検隊	7月31日(月)~8月4日(金)	(31日) 9:00~(4日) 12:00	県立大山青年の家 日吉津キャンプ場 むさびだん公園	県立大山青年の家 電話:0859-53-8030 FAX:0859-53-8265	参加費用:12,000円程度 申込期限:7月1日(土)~15日(土)必着 対象:小学5年生~中学生 定員:36名
《歴史講座》一日まるごと日本刀 午前:刀剣講座(申込不要) 午後:小刀作り(小学生のみ)	7月23日(日)	10:00~15:00	県立博物館 会議室	県立博物館 電話:0857-26-8044 FAX:0857-26-8041	受講料:無料 申込:7月6日(木)~、電話のみ 対象:午前は一般、午後は小学生 定員:20名(午後の部)
《ギャラリートーク》企画展「日本民藝館所蔵 生誕130年 バーナード・リーチ展」	5月20日(土)~6月3日(土)	14:00~15:00	県立博物館 特別展示室	県立博物館 電話:0857-26-8044 FAX:0857-26-8041	聴講料:観覧料 申込:不要 対象:高校生~一般 定員:なし
(BD上巻)貴重なSPレコード音源と映像で楽しむ Leach、河井寛次郎、濱田守司、藤宗悦司会・座談会「日本民藝館制作、約23分」	5月27日(土)	①11:00~11:40 ②14:00~14:40 ③15:00~15:40	県立博物館	県立博物館 電話:0857-26-8045 FAX:0857-26-8041	聴講料:無料 申込:不要 対象:高校生~一般 定員:250名
《アートシアター》バンクシー・ダズ・ニューヨーク (2週連続上映)(2014/アメリカ/81分)	6月17日(土)~6月24日(土)	14:00~15:30	県立博物館 講堂	県立博物館 電話:0857-26-8045 FAX:0857-26-8041	視聴料:無料 申込:不要 対象:高校生~一般 定員:250名
《アートシアター》偉大なオペレーション フランク・ロイド・ライト 建築と日本 (2005/日本/130分)	7月8日(土)	14:00~16:20	県立博物館 講堂	県立博物館 電話:0857-26-8045 FAX:0857-26-8041	視聴料:無料 申込:不要 対象:高校生~一般 定員:100名
だいせんキャンプ① (不登校対策事業)	7月12日(水)	10:00~15:00	赤松の池 県立大山青年の家	県立大山青年の家 電話:0859-53-8030 FAX:0859-53-8265	参加費用:2,000円 申込期限:6月12日(月)~7月4日(水)必着 対象:不登校や学校を休みの小学生 定員:なし

よりよい紙面づくりのために  
ご意見をお寄せください。

問合せ先 送り先

〒680-8570(住所記載不要) 県教育委員会教育総務課  
電話 0857(26)7926 FAX 0857(26)8185 E-MAIL kyouikusoumu@pref.tottori.lg.jp  
バックナンバーはホームページをご覧ください。 <http://www.pref.tottori.lg.jp/yumehiroba>

## 学校連携 美術企画展で鑑賞授業を! 一作品の前で立ち止まれる子どもに



平成28年度企画展 「日本におけるキュビズム-ピカソインパクト」会場風景

写真は、昨年開催された企画展の会場風景です。長い時間作品を見つめて佇む子どもたちの姿が印象的でした。展示室を訪れた子どもたちは、まずみんな一枚の絵を鑑賞しました。絵の前で、色や形などを根拠に見えたものや感じたこと、思いついたストーリーなどを話します。対話による鑑賞と呼ばれる方法です。ファシリテーター(進行役)や友達に伝えることで、気づかなかったものに気づいたり、感じた理由が明確になったりします。もちろん根拠をもとに話すのですが、そこで言葉になったことすべてが正解だといえるのがアートの面白いところです。子どもたちは話すことで認められたと感じ、楽しく幸せな気持ちになっ

ていきます。そして、一人で鑑賞するときにも、作品の前で自然に足を止め、じっくりと向き合うようになります。「何が描かれているのだろう?」「どうしてそう感じるのだろう?」と自分自身に問いかけているのかも知れません。このような経験をした子どもたちは、きっと自分の目と心でアートを楽しめる大人へと成長していくことでしょう。平成29年度、当館美術部門では3つの企画展を開催します。学校行事や家族で過ごす週末など機会を捉えてご来館いただき、子どもたちが本物と出会う場をともに楽しんでいただきたいと思います。

**日本民藝館所蔵 生誕130年**

### バーナード・リーチ展

会期 平成29年 4月15日(土)~6月4日(日)  
休館日なし

リーチさんはイギリス人の陶芸家ですが、何度も日本を訪れ、各地にある焼きものの産地で作品を作ったり、そこで働く職人たちの焼きもの作りを指導したりしました。鳥取県では河原町の牛ノ戸窯で、コーヒークップの把手(とって)の付け方を指導しています。兎や蛙、ペリカンなどの姿が付けられたお皿は可愛らしくて素敵ですよ。

バーナード・リーチ (染織版元文庫) 1919年、日本民藝館蔵

**富士フィルム・フォトコレクション展**

### ~日本の写真史を飾った 写真家の「私の1枚」~

会期 平成29年 11月23日(木・祝)~12月24日(日)  
休館日:毎週月曜日

写真が日本に伝わったのは江戸時代の終わり頃です。この展覧会では、幕末から今日までの日本の写真の歴史を、101名の写真家の代表的な作品をおして紹介します。鳥取県出身の5名の写真家、塩谷定好、植田正治、杉島隆、田淵行男、岩宮武二の作品も展示されます。

野町和恵 《ライラトル・ガドルの礼拝 メッカ》 1995年、富士フィルム株式会社蔵

**モダンアートを検証する。**

### ~福岡市美術館の近現代 美術コレクション展(仮)~

会期 平成30年 2月3日(土)~3月18日(日)  
休館日:2月26日(月)

九州にある福岡市美術館の所蔵品の中から、20世紀後半に制作された作品を中心に約80点を紹介します。現代美術の新鮮な表現に出会うチャンスです。

藤野一友《抽象的な籠》 1964年、福岡市美術館蔵

問合せ先 鳥取県立博物館 美術振興課 【電話】0857-26-8045 【FAX】0857-26-8041

◎学校での利用の際には減免申請をしてください。引率の先生方の観覧料が無料になります。また、次の方は無料です。※大学生以下/※70歳以上/障がいのある方・要介護者等及びその介護者(※については企画展「富士フィルム・フォトコレクション展」を除く)